

## 熊野古道 大辺路 第1弾 (紀伊田辺駅～紀伊富田駅)

山行日 : 2024年9月7日(土) 晴れ  
メンバー : do-yan (ここゆめ班)  
コース : do-yan 自宅 5:20 → 自家用車 → 6:40 紀伊田辺駅 7:00 →  
7:13 鬮鷄神社 → 8:11 大瀉神社 → 8:40 峠の高地蔵 →  
9:50 山王橋(潜水橋) → 10:22 保呂の虫食岩・大日如来堂(昼食)  
→ 11:40 日神社 → 12:05 紀伊富田駅 14:04 → 14:20 紀伊田  
辺駅 → 16:00 do-yan 自宅

熊野古道中辺路を完歩したのが3年前、今回からは大辺路に入ります。第1弾として紀伊田辺駅から紀伊富田駅までをスタートします。

貴族や上皇が公式の参詣道として用いた中辺路に対し大辺路は時間に余裕のある庶民・文人墨客などが風景を楽しみながらのんびり歩いた道だったそうです。

道中は四十八坂と称されるほど峠道が多く厳しい道のりだったので今も市街化や道路開発を免れて往時の景観を残すところもあります。海岸に沿って迂回するコースなので枯木灘や熊野灘の海の風景が美しいところです。



紀伊田辺駅をスタートするとほどなく鬮鷄神社に着きます  
武蔵坊弁慶ゆかりの神社です



鬮鷄神社からは県道を1時間歩き、



白浜との分岐手前で左手に入り大瀉神社に立ち寄りバイパス道を越えて峠の高地蔵を拝み国道に合流、

バイパスから国道までには分岐がたくさんあり道標がないのでずいぶん道を間違いました。  
生馬橋手前の富田川沿いを進むと



山王橋、潜水橋を渡ります、先々月高知県の仁淀川で潜水橋（沈下橋）を見てきたばかりで、和歌山にもあったんだと感動しました。



山王橋を渡り富田川沿いを進むと保呂の虫喰岩と大日如来堂に立ち寄り、少し早いがここで昼食を済ませ日神社へ川沿いの国道を進みます、この日も残暑厳しくへろへろになりながら歩きました、アスファルト道は股関節に響きますし照り返しがきつくて苦勞しました、1時間国道を歩き日神社に到着。



ここから古道を離れて富田橋を渡り紀伊富田駅にゴール、次の電車は1時間30分後しかなく駅のベンチで昼寝を決め込みました。

今回のコースは平坦な道ばかりでしたが、第2弾は富田坂越えの山道コースに入ります。

記：do-yan